



エコ・ファーストの約束（更新書）

～環境先進企業として地球環境保全の取組～

平成24年3月22日

環境大臣 細野 豪志 殿

株式会社タケエイ
代表取締役社長

山口 仁司

私たちタケエイグループは、エコ・ファースト制度実施規約改定に伴い、エコ・ファーストの約束を以下のとおり更新します。

1. 低炭素社会

- 廃棄物の収集運搬サービスにおいて、物流拠点の検討、アイドリングストップの徹底、低公害車導入の推進等を実行し、運搬効率の向上を図ることで、廃棄物回収件数1件当りのCO₂排出量を、2015年までに、2007年比で8%削減します。
- 廃棄物の運搬から、処理および再資源化までの一連のサービスにおける総CO₂排出量を把握し、モーダルシフトや、バイオマス発電利用先への優先搬出等のサービスを提供することで、CO₂排出量の削減を推進します。搬出重量当たりのCO₂排出量を2015年までに、2007年比で8%削減します。
- オフィス内でのクールビズ、ウォームビズを実施し、事業活動に伴う燃料消費量、電気使用量を把握の上、部門毎の削減に努め、省エネルギー化を徹底します。

2. 3R

- 排出状況に応じた最適な車両等（ダンプ車、コンテナ車、クレーン車、分別容器）を提供することにより、分別排出をサポートし、円滑なリサイクルを促進します。
- 主要な取扱品目である建設混合廃棄物については、近年、全国のリサイクル率が9～36%で推移していますが、グループ全体として、解体工事や中間処理施設から排出される性状が細かく際立ってリサイクルが困難な混合廃棄物も対象に入れたリサイクル率向上に取り組み、最先端の技術を導入した機械技術を活用し、2012年までにリサイクル率90%以上を達成し、2015年までに、一層のリサイクル推進を図ります。
- 排出事業者、処理業者、再資源化品利用者（製品・素材メーカー）等の関係各位による連携スキームを構築し、均一な品質と安定したロットの再資源化品を市場供給することで、廃棄物の循環的資源利用の推進を目指します。
- 廃石膏ボードについては、単品リサイクル施設を活用し、グループ全体の受入量を、2015年までに、2007年比で80%増を達成し、一層のリサイクル推進を図ります。
- リサイクル専門の単品製造工場の整備等に努めることで、グループ全体の再資源化品の扱量を、2015年までに、2007年比で450%増（重量ベース）を達成し、一層のリサイクル推進を図ります。

3. 環境教育

- お客様への分別排出支援サービスについて、今後とも先駆的な規模と質において一層の拡充を図るため、年間の延訪問数6000回、新規支援先100件、排出現場での平均分別率65%以上を確保することで、環境保全意識の向上、リサイクルの推進および廃棄物のリデュース・リユースに貢献いたします。内容としては、分別排出支援のためのツール開発、排出量予測および実績管理支援、分別デモンストレーション、現場での分別教育支援、工期毎の分別コンサルティング（発生抑制、ゼロエミッション計画）、その他の有用な情報提供を充実いたします。
- 関連法規（廃棄物処理法、建設リサイクル法、循環型社会形成推進基本法等）に基づき、廃棄物の適正処理および再資源化、特に、建設廃棄物に関する3Rを積極的に推進します。そのための環境保全教育の充実を図ります。

株式会社タケエイは、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

